

教育
広報

あきる野の教育

2023 (令和5) 年7月1日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮 350 ☎ 042 (558) 1111 (代)



南秋留小学校に ひばり学級 開設



「未来に羽ばたく」

ひばり学級」開設

あきる野市教育委員会

教育長 丹治 充

令和5年4月、南秋留小学校に特別支援教育の拠点として自閉症・情緒障害特別支援学級「ひばり学級」を開設し、1年生から4年生までの11名で教育活動が開始されました。校長先生をはじめ、教職員スタッフには経験豊富な指導者を配置し、児童の個に応じた支援を充実させた組織的な対応を図っています。

ひばり学級では、児童一人一人の個性や可能性を把握し、理解しながら適切な指導や必要な支援を行うために、入学前から継続的に教育相談や支援を充実させることを目指し開設しました。今後は、教育ニーズの変化に応じ、学びの場を柔軟に見直しながら支援に務め、より適切な指導内容や指導方法を工夫するなど、学びの継続性を重視して進めてまいります。

今後、持続可能な社会の存続に関わる福祉・人権・平和教育をはじめとする多文化共生問題等、変化が激しく予測が困難な時代を生きる子どもたちが、新たな局面を乗り越え、他者との関わりの中で生き抜いていく力を育むためには、教育委員会は

もちろんのこと、家庭、地域、学校が責任ある教育を実践していかねばなりません。

様々な社会変化がもたらす影響の中で、学ぶ意欲の強い子どもたちと、教え導く意欲あふれる教職員との、教育の営みの中で、未来の夢の実現に向けて、大きく羽ばたく学びの場となるよう「ひばり学級」を見守り育み、地域に信頼される教育が推進されますよう期待しております。

「ひばり学級」の

スタート

南秋留小学校

校長 中島 靖二

令和5年度、南秋留小学校が誕生して50年目に当たる節目の年に、自閉症・情緒障害特別支援学級（以下、「ひばり学級」）が開設しました。1階の3つの教室に改修工事を施し、教室及び廊下のオープンスペース化を実現した教室空間になっています。その時々状況に応じた雰囲気の中で学校生活を送ることが出来ます。

ひばり学級の名前には、空に向かって高く飛んでいく「ひばり」のように、自分の課題に向き合って、それを乗り越えていくよう大きく羽ばたいてほしいという願いが込められています。

す。そして、南秋留小学校は、今年度から、ひばり学級、コミュニケーションクラス（拠点校）、通常の学級の3つの学級のある市内唯一の学校に生まれ変わることになります。

ひばり学級では、教科指導を一人一人の課題に合わせて行うだけでなく、学校行事や特定の教科で他の学級と交流し、大きい集団でのやり取りも学んでいきます。それぞれの学級は、学ぶ場所や内容は異なっても、全ての子どもたちが、安心して学ぶことができる環境、全ての子どもたちがそれぞれの持ち味を生かせる環境になるために一層の教育活動の充実を目指しています。

南秋留小学校の

校章の由来

南秋留小学校の校章は、昭和49年の開校時に、当時秋川市南間在住の石川忠芳さんによって図案化されました。

南秋留小学校の頭文字の「南」の漢字に、鳥をイメージした「小」の字を加えたものです。

子どもたちが大きく、たくましく、羽ばたくようにとの願いが込められ、校章の周囲の輪は「子ども・保護者・学校」の「協力と和」を表しています。

